



みずの通信

水野会計事務所

500-8288 岐阜市中鶴 3-70-7
TEL058-273-2484 FAX058-273-2416

2020. 7

文章は、6月20日付の情報によりますし、私見が入っています。

- 1 **雇用調整助成金の支給限度額が8,330円から15,000円に引き上げられました。**
すでに申請済みの会社は、この引き上げによる再申請の必要はありません。
限度額の引き上げにより、休業手当の支給率を引き上げる場合は、追加申請が必要です。
- 2 **雇用調整助成金の簡易版が施行されました。**
おおむね20人以下を雇用している事業所が対象です。
どこが違うかということ、本来の雇用調整助成金は、前年度の全従業員の総所定労働日数を算定し、それを立証することが必要です。書類の保存状況等がよくない小規模事業所では、これがネックでした。
それに対して簡易版は、休業手当を支給しようとする人の休業日数と休業手当の金額でよいことになっています。大幅に簡略化したこととなります。
- 3 **持続化給付金の申請で注意することはなにか。**
前月号でも書きましたが、前年度の売上金額は、個人の青色申告者は青色申告決算書の2ページ目の各月の売上金額欄の金額を言い、法人は事業概況書に記載されている売上金額です。ですからその金額を必ず確認してください。そうでないとNGで返却となります。わからない場合は当事務所にお尋ねください。相手はアルバイトです。理屈は通りません。
- 4 **テレワークになった従業員の通勤手当はどうなるのか。**
会社に出勤しないのに通勤手当を払うのはおかしいから非課税処理はできないのではないかと疑問に思われる方もおいでかと思えます。
税務の扱い方としては、通勤手当として非課税でよいとの考えです。理由は下記のとおりです。
 - 1 会社に出勤すべきを自宅で仕事をしているだけであるから。
 - 2 会社にいつでも出勤できる体制であるのだから、月に数日の出勤でも1か月分の定期代は仕方がない。鉄道会社は、定期代を1か月単位で払い戻しに応じているとのことですから、出社の必要がないからと現金化してしまってもOKのようです。
- 5 **コロナの影響で家賃の減額改定に応じた場合の消費税はどうなるのでしょうか。**
「経済事情の変動等により契約期間中であっても賃料を増額又は減額できる」旨の条項がない契約書は、契約期間が到来するまでは8%とするとの経過措置があります。しかしながらこの場合でも、契約期間中に賃料が、実際に増額又は減額された場合は、そこで契約改定があったものとして消費税は10%とするのが従来の取り扱いでした。

つまり、どのような契約であっても、金額改定したら、消費税は10%に改定するというものでした。

31年の通達改正で、コロナの場合は、消費税を10%にしなくてよいとされました。つまり、コロナにより家賃の減額改定の要請がテナントからあり、それに応じた場合は、そのまま消費税は8%でよいとされました。

6 マイナンバーの通知カードが5月でもって中止されました。

今後、マイナンバーの確認を行うには、マイナンバーカードまたはマイナンバーが記載されている住民票となります。

7 家賃支援給付金は、この段階では、詳細は分かっていません。次号掲載となります。

8 泉佐野市が国を相手どってふるさと納税について訴訟をおこしています。地裁、高裁と泉佐野市が敗訴となりましたが、最高裁が弁論を開いたということで、俄然、逆転判決の可能性が高くなり、注目を集めています。

これに意を強くした泉佐野市は、特別交付税が減額されたことに対しても大阪地裁に訴訟を起こしました。

9 景気対策のために消費税減税が一部の政治家からでています。軽減税率導入と消費税増税のためにどれだけのコストと事務負担を強いたと思っているのでしょうか。減税すればまた混乱とコストが増える、その意識が与党も野党もなさすぎるのが悲しいです。

消費税は経済活動の中での取引に課税する税金です。結果だけに課税する所得税等とは違います。複雑にすればするほど、経済活動を混乱させ、停滞を生むということがわからないようです。

休業要請がなされたのは、非常事態宣言が出て、その翌日からだったと思います。「オーナーは出張中なので、戻ってきたら相談して決めます」と従業員が返事して、一日だけ開業したら、休業補償がもらえなくなった、との話を聞きます。多少の周知期間は必要だと思います。

「岐阜県ふっこう割クーポン」、さっそく申し込んでゲット、家族が帰ってきたら行く先を相談しようと喜んでいたら、じゃらんで宿泊先を申し込まないとゲットしたことにならないとの制度で、じゃらんを開いたときは、もう締め切り後だった。これも周知期間がなさすぎると思います。

テレビ番組の「情熱大陸」で「ラコリーナ近江八幡」を設計した藤森照信氏のことを取り上げていました。かつて職員旅行で訪れて、あまりに良かったのでその後すぐ、家族でも訪れたところでした。大変、興味深く観ることができました。多治見市モザイクタイルミュージアムも彼の設計と知り、一度は立ち寄りたいたと強く思いました。73歳、凄いですねえ。

散れば咲き 散れば咲きして 百日紅（加賀千代女）

